

心疾患

所属_____

氏名_____

高齢者に多い疾患－心疾患

問題1 誤りはどれ？

- ①虚血性心疾患には，狭心症と脳梗塞がある。
- ②狭心症は，心臓の筋肉に酸素を供給している冠動脈が狭くなる病気である。
- ③心筋梗塞の症状は，激しい腹痛である。
- ④虚血性心疾患の予防は，動脈硬化を予防する食事，ダイエット，脂肪の少ない食事，塩分制限，質の高い睡眠，運動，禁煙などである。

MEMO

高齢者に多い疾患－心疾患

問題2 誤りはどれ？

- ①虚血の状態が長く続くと、狭心症になる場合がある。
- ②心不全とは、血液を全身に送るためのポンプの役割をしている心臓の機能がうまくいかなくなることである。
- ③狭心症の場合、重症になると血圧が下がり、ショック状態を起こすこともある。
- ④胸の痛みだけでなく首や背中、胃の痛みを訴える場合は、狭心症の可能性もある。

MEMO

高齢者に多い疾患－心疾患

問題3 誤りはどれ？

- ①強い胸の痛みを訴える場合は、まずは血圧を測り、安静にして様子を見る。
- ②A型行動と言われるAggressive（攻撃的）な行動パターンをとる人は、虚血性心疾患になりやすいと言われている。
- ③虚血性心疾患のリスクファクターを持つ人には、定期的に心電図検査を受けるように勧めた方がよい。
- ④胸以外のところの痛みを訴える場合は、虚血性心疾患ではない。

MEMO

高齢者に多い疾患－心疾患

問題4 誤りはどれ？

- ①動脈硬化や高血圧の既往と、虚血性心疾患は全く関係ない。
- ②動脈硬化や高血圧は、食生活で塩分だけでなく、タンパク質が多いとなりやすいことが近年わかってきた。
- ③動物性脂肪は、虚血性心疾患の原因であると考えられてきたが、近年の研究結果では、動物性脂肪は、虚血性心疾患に悪影響を与えないことがわかってきた。
- ④虚血性心疾患の原因のひとつである動脈硬化は、一度固くなってしまふと二度と柔らかくならないと考えられていたが、近年では食習慣を見直して、改善する可能性もあるという考えもでてきた。

MEMO

高齢者に多い疾患－心疾患

問題5 誤りはどれ？

- ①心不全やネフローゼ症候群なども体重増加になるが、体重増加の原因は浮腫の場合もある。
- ②心不全で呼吸困難の場合には、仰臥位より起座位、半座位により呼吸がさらに苦しくなる。
- ③近年では、虚血性心疾患の原因である動脈硬化の原因は、糖質過剰と塩化ナトリウム過剰であるとわかってきた。
- ④タバコは、近年の研究の結果、虚血性心疾患の原因ではない。

MEMO

高齢者に多い疾患-心疾患

問題6 事例問題

介護施設に入居されているAさん（88歳、男性、要介護2）が、左の肩こりがひどいので肩をもんでくれと依頼をした。

夕方の仕事終わりの時間であったが、なんとか時間を作って、肩もみをした。少し顔色が悪いと感じたが、帰る時間も近づいてきたので、気になりながらもそのままにして、帰宅した。

翌日、出勤すると夜勤の間にAさんは、意識がなくなり、救急車で病院へ搬送されたが亡くなられた。死因は心筋梗塞であった。

MEMO

昨日の左の肩こりと死因の心筋梗塞には何か関連があったのだろうか？

さらに、その時にどんな行動をとっていればよかったのかを考えてみよう。

日総研介護人財

MEMO
